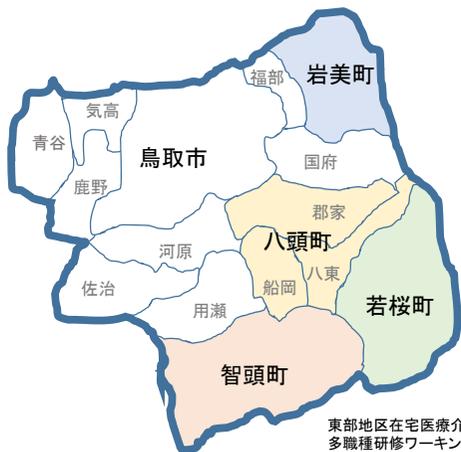
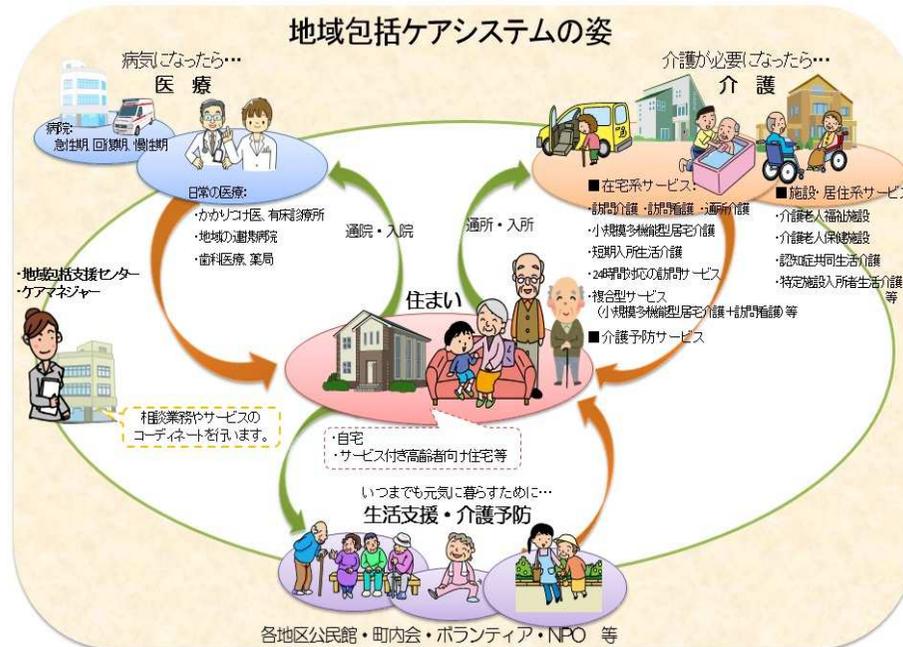


# 地域包括ケアシステムについて —鳥取県東部を中心に—



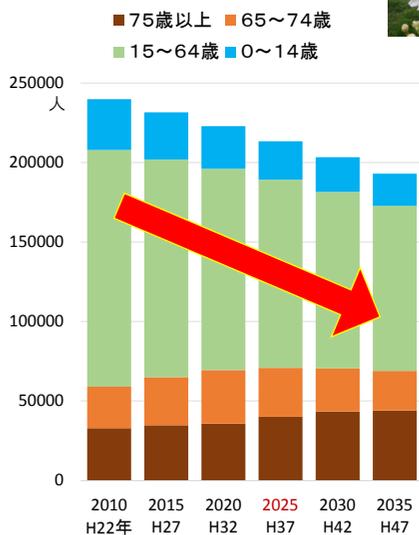
東部地区在宅医療介護連携推進協議会  
多職種研修ワーキング



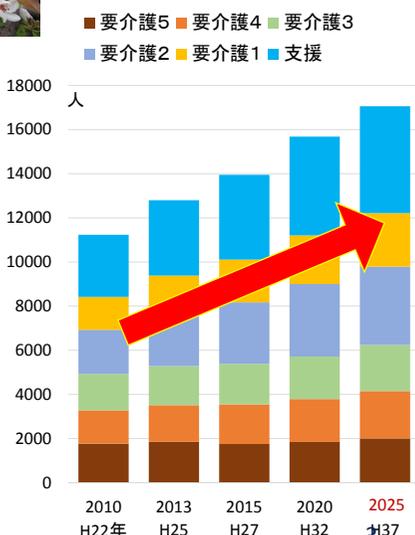
厚生労働省資料より

## 東部

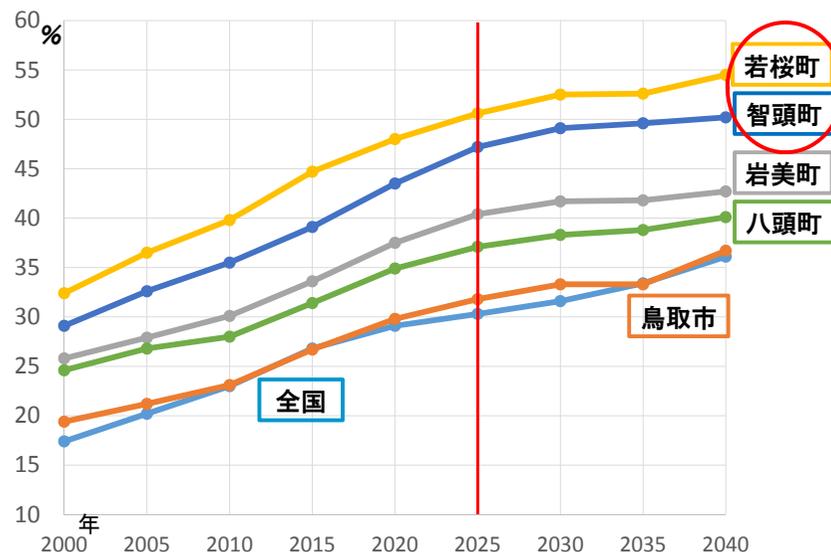
### 人口動態と推計



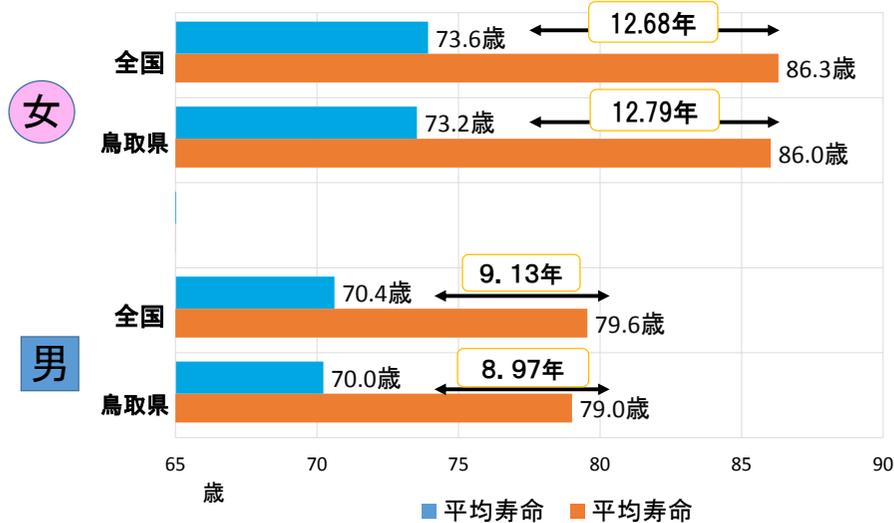
### 要介護認定数との推計



## 高齢化率推移 全国・東部



## 健康寿命と平均寿命

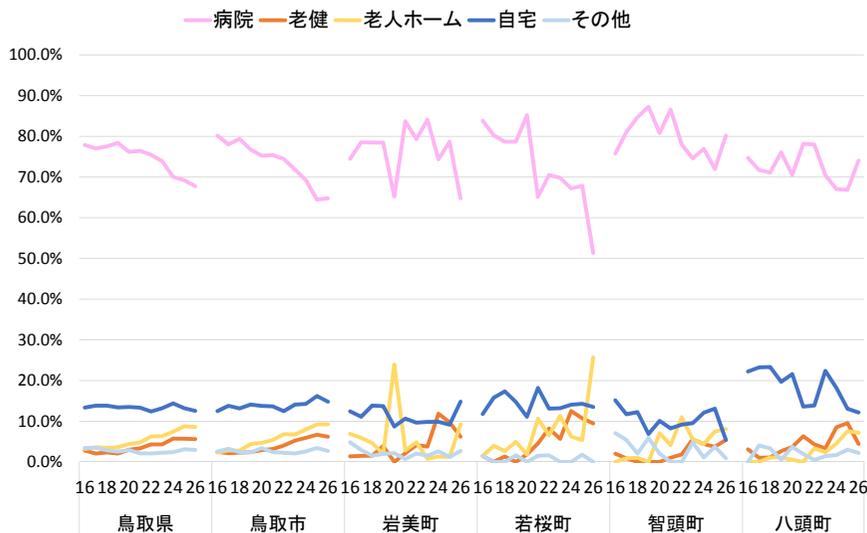


資料：平均寿命(平成22年)は、厚生労働省「平成22年完全寿命表」  
健康寿命(平成22年)は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

介護の希望	自分が受けたい	両親に受けさせたい
家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば <b>自宅で介護を</b>	46%	27%
<b>自宅で</b> 家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて <b>介護を</b>	24%	49%
有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えて介護を	12%	5%
特別養護老人ホームなどの施設で介護を	7%	6%
<b>自宅で家族中心に介護を</b>	4%	4%
医療機関に入院して介護を	2%	2%
その他+無回答	5%	7%

資料：平成22年介護保険制度に関する国民の皆さまからのご意見募集結果 厚生労働省 6

## 近年の死亡場所の構成(県、1市4町)



## 地域医療構想(2025年の必要病床数の推計)

★政府の社会保障制度改革推進本部医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会

- 推計病床数の減少(41道府県)
  - 慢性期病床・24万~29万床(2割減の推計)
  - 高度急性期病床13万床、急性期病床40万床と、それぞれ(3割の推計)
  - 回復期病床は38万床と3倍の増
- この割合で考えると
- 鳥取県は7400床から5800床の推計
  - 鳥取東部地区は現状2780床から2242床の推計

19.4%の削減?!

## 地域包括ケアシステムの「植木鉢」



9

## 「自助・互助・共助・公助」からみた地域包括ケアシステム



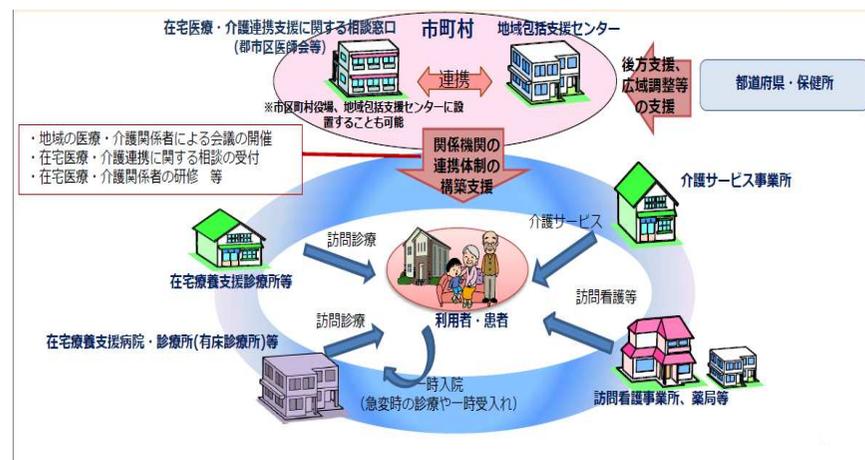
10

## 地域包括ケアシステム構築のための重点取組事項

- 在宅医療・介護連携の推進
- 認知症施策の推進
- 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進
- 高齢者の生活を支える住まいとサービスの確保

11

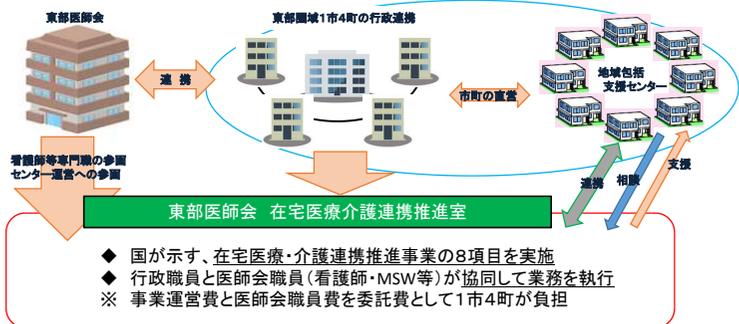
## 在宅医療・介護連携の推進事業



厚生労働省 第2回 都道府県在宅医療・介護連携担当者・アドバイザー合同会議資料 より

12

【東部地域の連携イメージ】 ○ 地方都市モデル



【東部地域の事業方針】

- ・行政は、東部医療圏の1市4町が連携し共同実施(医師会エリアも東部)
- ・国のモデル事業を参考にし、鳥取県東部地域の実情にあった、全国に例のない新しい連携推進体制を構築
- ・東部医師会 在宅医療介護連携推進室を設置し、行政職員と東部医師会の専門職員が協働で事業を実施

※ 須坂のように行政連携し、連携推進室を設置。運営は行政と医師会(専門職)が連携・協同  
 ※ 医療圏で統一行動。介護等事業のない医師会も行政が主体となることで連携がしやすい。 13

在宅医療・介護連携推進事業 (介護保険の地域支援事業平成27年度～)

○事業項目と取組例

<p>(ア) 地域の医療・介護の資源の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化</li> <li>◆ 必要に応じて、連携に有用な項目(在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等)を調査</li> <li>◆ 結果を関係者間で共有</li> </ul>	<p>(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援</li> <li>◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用</li> </ul>	<p>(キ) 地域住民への普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催</li> <li>◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発</li> <li>◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等</li> </ul>
<p>(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討</li> </ul>	<p>(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。</li> </ul>	<p>(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討</li> </ul>
<p>(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進</li> </ul>	<p>(カ) 医療・介護関係者の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実践を習得</li> <li>◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等</li> </ul>	

厚生労働省 第1回 都道府県在宅医療・介護連携担当者・アドバイザー合同会議資料 より 14

在宅医療・介護連携推進室

2015年度の活動内容、2016年度の方向性

総合企画WG	2015年度 5回開催 事業全体の企画、進捗管理、HP開設 2016年度 協議会やWGの進捗管理、未検討項目の協議
行政WG	2015年度 4回開催 情報共有・意見交換、ファシリテーター研修会開催、ケアマネアンケート 2016年度 資源不足への対応、住民啓発の推進、生活支援・介護予防・認知症対策との情報共有
地域資源WG	2015年度 5回開催 資源調査マップを作成予定(3月) 2016年度 情報更新(年1回)、情報のWEB化
多職種研修WG	2015年度 5回開催 多職種研修の現状把握、ファシリテーター育成、共通資料の作成 2016年度 ワールドカフェでの研修テキスト項目抽出、小地域での研修会
住民啓発WG	2015年度 6回開催 住民啓発の現状把握、ファシリテーター育成 2016年度 小地域学習会開催のための共通の普及啓発資料作成

